

安全データシート

整理番号J100403N2

作成2012/8/20

改定2016/03/31

製品名：カラーネガ用ケミカル

ECOJET-N TYPE04LR N-2

ECOJETカートリッジカラーネガ用漂白補充剤

1. 化学物質等及び会社情報

製品名：カラーネガ用ケミカル

ECOJET-N TYPE04LR N-2

ECOJETカートリッジカラーネガ用漂白補充剤

会社名：TETENAL AG & CO. KG

住所：Schützenwall 31-35 D-22844 Norderstedt / Germany

(TEL:+49 040-52145-0 FAX:+49 040-52145-296)

輸入元：(株) DNP フォトイメージングジャパン

(TEL:0120-342-306 FAX:0120-342-309)

急性中毒の恐れがある場合の緊急連絡先：公益財団法人日本中毒情報センター

中毒110番 (大阪) 072-727-2499

(つくば) 029-852-9999

推奨用途及び使用上の制限： カラーネガフィルム用漂白補充剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

皮膚腐食性・刺激性

区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分2

皮膚感作性

区分2

環境有害性

水生環境有害性(慢性)

区分2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： ・皮膚刺激

・強い目刺激性

・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

・長期的影響により水生生物に毒性

注意書き：

[予防策]

・粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[対応]

・目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

・特別な処置が必要である（このラベルを参照すること）。

・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

[廃棄]

・内容物／容器は関連法規に従い廃棄すること。

3. 組成、成分情報

安全データシート

整理番号J100403N2

作成2012/8/20

改定2016/03/31

製品名：カラーネガ用ケミカル

E C O J E T - N T Y P E 0 4 L R N - 2

E C O J E Tカートリッジカラーネガ用漂白補充剤

－混合物－

[原則安衛法表示対象物・通知対象物は安衛法の規定%以上含有成分を記載、それ以外は1%以上を記載]

化学名((成分)	重量%	CAS No.	官報公示整理番号		PRTR 法
			化審法	安衛法	
アミノポリカルボン酸鉄塩 (鉄水溶性塩) *	40～ 50	----	届出済	既存	非該当
有機酸	25～ 50	----	既存	化審既存	非該当
臭化アンモニウム	1～ 25	12124-97-9	1-106	化審既存	非該当
有機酸塩	1～ 25	----	既存	化審既存	非該当

PRTR法（化学物質管理促進法）該当物質は、特定第一種、第一種、第二種指定化学物質の分類と、政令番号を併記しています。（*：安衛法通知対象物質）

成分欄に【安衛法表示】の表記のあるものは、労働安全衛生法 表示対象物を示します。

成分欄に【安衛法通知】の表記のあるものは、労働安全衛生法 通知対象物を示します。

成分欄に【安衛有機則】の表記のあるものは、労働安全衛生法の有機溶剤中毒予防規則対象物を示します。

4. 応急措置

- 吸入した場合：直ちに被災者を空気の新鮮な場所へ移し、安静に努める。症状が続くようであれば医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：触れた部位を多量の水で洗浄、石鹼で洗い落とす。汚れた衣服は脱ぐ。再使用の際は充分洗濯する。炎症があれば医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼。症状が続くようであれば医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：水で口をよく洗い医師の手当てを受ける。
- 応急措置を行う者の保護：救助を行なう者は、必要に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤：初期火災は散水、炭酸ガス、粉末消火器、泡沫消火器等を周囲の物質に応じて選択する。
- 使ってはならない消化剤：通常の状況下では不適切な消化剤はない。
- 特定の消火方法：周辺火災の場合は、危険がなければ容器を安全な場所へ移す。防災関係に無関係な人は速やかに安全な場所へ退去させる。漏出した物質や消火剤等が河川等に排出されないように配慮する。側面から水をかけて容器を冷却する。作業は出来るだけ風上の安全な場所から行う。
- 消化を行う者の保護：消火する際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

適切な保護具を着用する。（「8. 暴露防止及び保護措置」の項参照）。立ち入り前に換気を行う。

環境に対する注意事項：漏出物が大量に河川等に排出しないように配慮する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

大量の漏出：リスクを伴わない場合、可能なら漏出を止める。可能な場合は漏出物をせき止め、プラスチックシートなどで覆い拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質に吸収させて、適切な容器に回収し、その後適切な方法で廃棄する。回収

安全データシート

整理番号J100403N2

作成2012/8/20

改定2016/03/31

製品名：カラーネガ用ケミカル

E C O J E T - N T Y P E 0 4 L R N - 2

E C O J E Tカートリッジカラーネガ用漂白補充剤

後は水で洗い流す。

少量の漏出：布、吸収シートなどの吸収剤を使用し拭取り、その後念入りに清掃して汚染を取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- 技術的対策：皮膚、粘膜や着衣に触れたり、眼に入れたりしないようにする。
取扱い後は手や顔をよく洗う。
- 局所排気・全体排気：作業場は換気を充分行う。
- 注意事項：「8. 暴露防止及び保護措置」の項参照。
- 安全取扱注意事項：「10. 安定性及び反応性」の項参照。
家庭用、工業用の塩素系漂白剤（次亜塩素酸塩）と混合しないこと（混合すると刺激性ガスが発生する）。

保管：

- 適切な保管条件：直射日光を避け涼しい場所に密閉して保管する。
子供の手の届かないところへ置く。
- 混触禁止物質：「10. 安定性及び反応性」の項参照。
- 安全な容器包装材料：十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱いは局所排気装置を使用するか、又は換気の良い場所で行う。

手洗い、洗顔などの設備を設け、取扱い後は手や顔をよく洗う。

含有成分の管理濃度・許容濃度

化学名（成分）	CASNo.	厚生労働省 告示管理濃度	日本産業 衛生学会	ACGIH TWA
アミノポリカルボン酸鉄塩（鉄水溶性塩）	----	未設定	未設定	1mg/m3(as Fe)
有機酸	付与済み	未設定	未設定	未設定
臭化アンモニウム	12124-97-9	未設定	未設定	未設定
有機酸塩	----	未設定	未設定	未設定

保護具

- 呼吸器の保護具：保護マスク
- 手の保護具：不浸透性保護手袋。
- 眼の保護具：安全メガネ。必要に応じて顔面保護具を着用する。
- 皮膚および身体の保護具：必要に応じて適切な保護衣を着用する。
- 適切な衛生対策：作業中は飲食、喫煙はしない。飲食、喫煙前には石鹼で手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 形状：錠剤
- 色：黄色
- 臭気：認識できる
- pH：4.2

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

- 融点：---

引火性等

安全データシート

整理番号J100403N2

作成2012/8/20

改定2016/03/31

製品名：カラーネガ用ケミカル

ECOJET-N TYPE 04LR N-2

ECOJETカートリッジカラーネガ用漂白補充剤

引火点	: 500℃
自然発火温度	: 自然発火性なし
燃焼又は爆発範囲の上限、下限	: 爆発危険性なし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
溶解性	: 水に易溶
オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 仕様に従った使用法の場合、分解しない。
 危険有害反応可能性 : 酸、アルカリ、酸化剤と反応する。
 避けるべき条件 : データなし
 混触危険物質 : 塩素系漂白剤（次亜塩素酸塩）、強アルカリ、酸化剤
 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、臭素、臭化水素、アンモニアガス

11. 有害性情報

製品 :

- 急性経口毒性 : LD50 : >2000mg/kg [計算値]
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : Moderate [計算値]。
 皮膚腐食性・刺激性 : Mild P. I. I.=0.5 [計算値]

成分 :

アミノポリカルボン酸鉄塩（鉄水溶性塩）

- 急性経口毒性 : LD50 : >5000mg/kg [計算値]
 急性経皮毒性 : LD50 : >2000mg/kg [計算値]
 亜急性経口毒性 : 28日間反復投与毒性試験 [計算値] NOEL雄62.5mg/kg/day
 雌62.5mg/kg/day

- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : Mild [計算値]
 皮膚腐食性・刺激性 : None P. I. I.=0 [計算値]
 皮膚感作性 : None 0% [計算値]

臭化アンモニウム

- 急性経口毒性 : LD50:3175mg/kg [計算値], LD50:2860mg/kg [計算値],
 LD50:2700mg/kg [計算値]

- 眼刺激性 : Moderate [計算値]
 皮膚刺激性 : None P. I. I.=0 [計算値]

有機酸塩

- 眼刺激性 : Minimal [計算値]
 皮膚刺激性 : None P. I. I.=0 [計算値]

水酸化カリウム

- 急性経口毒性 : LD50:273mg/kg [計算値]
 皮膚刺激性 : Corrosive

12. 環境影響情報

成分 :

アミノポリカルボン酸鉄塩（鉄水溶性塩）

安全データシート

整理番号J100403N2

作成2012/8/20

改定2016/03/31

製品名：カラーネガ用ケミカル

E C O J E T - N T Y P E 0 4 L R N - 2

E C O J E Tカートリッジカラーネガ用漂白補充剤

水生環境有害性：EC50 48h: >1000mg/L [ミジンコ (daphnia magma)]

LC50 96h: >1000mg/L [ニジマス]

13. 廃棄上の注意

原液及び使用液を廃棄する場合は下水道や河川にそのまま廃棄せず、自社で排水処理装置を所有していない場合は都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添付して処理を委託してください。

容器及びダンボールも産業廃棄物として処理をする。

【廃棄時に該当する法規】

廃棄物処理法 : 産業廃棄物

水質汚濁防止法 : 生活環境項目

下水道法 : 下水の排除の制限

14. 輸送上の注意

輸送上の注意：“7章 取扱い及び保管上の注意”の記載による。

輸入情報

陸上 : ADR/RID

国連番号 : 3077

国連分類 : クラス9 (M7)

容器等級 : III

輸送名 : Environmentally Hazardous Substance, Solid, N.O.S.

海上 : IMDG

国連番号 : 3077

国連分類 : クラス9

容器等級 : III

輸送名 : Environmentally Hazardous Substance, Solid, N.O.S.

航空 : ICAO/IATA

国連番号 : 3077

国連分類 : クラス9

容器等級 : III

輸送名 : Environmentally Hazardous Substance, Solid, N.O.S.

15. 適用法令

化審法

第一種 特定化学物質 : 該当なし

第二種 特定化学物質 : 該当なし

監視化学物質 : 該当なし

優先評価化学物質 : 該当なし

安衛法

危険性物質 引火性 : 該当なし

危険性物質 引火性ガス : 該当なし

危険性物質 酸化性 : 該当なし

危険性物質 爆発性 : 該当なし

危険性物質 発火性 : 該当なし

有害性物質 発がん性 : 該当なし

特化則 第一類 : 該当なし

特化則 第二類 : 該当なし

安全データシート

整理番号J100403N2

作成2012/8/20

改定2016/03/31

製品名：カラーネガ用ケミカル

E C O J E T - N T Y P E 0 4 L R N - 2

E C O J E Tカートリッジカラーネガ用漂白補充剤

特化則 第三類	: 該当なし
有機則 第一類	: 該当なし
有機則 第二類	: 該当なし
有機則 第三類	: 該当なし
表示対象物	: 硝酸アンモニウム No. 16 の 2
通知対象物	: 硝酸アンモニウム No. 308, プロピレンジアミン四酢酸鉄アンモニウム (鉄水溶性塩) No. 352
その他	: 該当なし
消防法	: 非該当
劇毒法	: 非該当
PRTR法 (化学物質管理促進法)	: 非該当
船舶安全法	: 危険則第3条危険物告示別表第1 (腐食性物質)
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1 (腐食性物質)
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 (有害液体物質C類) (溶液)

16. その他の情報

参考文献:

- 化審法の既存化学物質 安全性点検データ集 (化学品検査協会)
- 国際化学物質安全性カード 日本語版 (化学工業日報社)
- 環境化学物質要覧 (環境庁環境化学物質研究会)
- 新版危険・有害性便覧 (中央労働災害防止協会)
- RTECS (U.S DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICE)

記載内容は現時点で調査・入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価について充分保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いの際には注意してください。特別な取扱いをする場合には、ご使用者の責任において安全対策を実施の上、実態に応じた適切な処置を講じてください。本SDSに記載のGHSラベル要素は、実際の製品には表示されない場合があります。また、記載内容は法令の改正や新しい知見に基づき改訂されることがあります。

作成 / T E T E N A L A G & C O . K G